

第3回 焼津市自治基本条例を考える市民会議

- 1 開催日時 平成 23 年 12 月 19 日（日）13:00～16:00
- 2 開催場所 焼津市役所 本館 6 階 603 号室
- 3 公開可否 可
- 4 傍聴者 なし
- 5 出席者 自治基本条例を考える市民会議委員 25 名

(事務局)

渡仲 企画財政部長
 岩谷 企画財政部次長兼企画調整課長
 飯塚 企画調整課総合計画担当主幹
 石原 企画課調整課行政改革担当係長
 秋山 企画調整課企画調整担当主査
 松永 企画調整課企画調整担当主査

(庁内プロジェクトチーム)

山下 市民協働課市民協働推進担当係長
 岡村 市民協働課市民協働推進担当主任主事
 山下 議会事務局庶務課庶務担当主査

6 内 容

(1) はじめに

事務局：(開会あいさつ、資料の確認)

○今回の会議の位置づけ、目的と進め方について

事務局：本日、3 回目は、大ワールドカフェの成果を今後活かす、焼津市の自治を進める上で大切なことについて議論していただく。

- ・来年 3 月 16 日(金)に第 6 回市民会議を追加した。市民会議の体制について、代表やリーダー、意見交換会等のための班分けなどについて話し合いたい。
- ・今年度は理念等について話し合い、来年度は一応 10 回と書いているが決まっているわけではない。6～7 月頃は意見交換会や P I 活動でまちに出て行ければと思う。9 月頃には 2 回目のワールドカフェを開催したい。あくまで事務局の考えだが、再来年 1 月に市民の言葉で書いた自治基本条例案を市長に提出、3 回目のワールドカフェ、パブリックコメント等を実施し、9 月の議会で審議、という流れ。

今井：今日から来年 2 月までの第 3～5 回でざっくりした一応の全体像をつくり、来年度、それを持って外へ出て、色々な人と意見交換できるようにしたい。

- ・今後、30 人の委員がひとつのチームとしてお互いに力を出し合える関係をつくっていくこ

とが必要だと思う。3月の会議では、代表やリーダーを選んだり、意見交換や広報を進めていくための班など、市民会議の体制づくりを皆さんで話し合っていたらどうかと考えた。お互いを知るために、早めに集まって一緒にお昼を食べたり、懇親会をやるなど、色々なことが考えられると思う。

- ・今日は、前回の大世界カフェの成果を5つの班で分担して抽出し、班のメンバーを入れ替えて、お互いの班のいいところを学び合った上で、班ごとに「大切なこと」をまとめていただく。最後、全体のまとめも少し工夫することで、ある程度集約を図りたい。

（2）「大世界カフェ」を振り返る

今井：11月13日の大世界カフェでは、88名の方が参加した。途中、班のメンバーを入れ替えて、まちづくりを進める上で大切にしたいこと、まちづくりに自分は何ができるか、といったことを話し合った。

- ・話し合いの前には、松下先生から「自治基本条例とは何か？今なぜ必要なのか？」についてのお話を聞いた。「野球は9人でやろう」など、これからのヒントをいただいた。
- ・大世界カフェでは15班で話し合いを行った。様々な人が参加していたぶん、多様な意見があったが、全体として、「つながり」、「焼津が好き」、「一人ひとりの当事者性」といったことは大体共通していたと思う。

（3）「大世界カフェ」の成果を今後活かそう

今井：今日のテーマのひとつは、大世界カフェの意見を出しっぱなしにせず、できるだけ活かそうということ。大世界カフェでは、「自分達でできること」として市民の当事者性をもとに話し合ったが、今回は大世界カフェの成果をヒントにしながらか、「オール焼津」のメンバー全員、市民・議会・行政でよりよいまちづくりを進めていくためにはどうしたらいいかを考えたい。その中で、焼津市のまちづくり（自治）を進める上で大切にしたいことを見出していきたい。

- ・先日お話した自治基本条例の骨組みとの対応でいえば、「自治（まちづくり）の基本となる考え方」についての検討ということでもある。何のために、何を指すのかを考えたい。そして次回は、目的や目標を実現するために必要な具体的内容につながる項目出しの話し合いをしたい。
- ・そうやって検討していくと、粗っぽいものであっても、仮の全体の姿ができるので、まちへ出て色々な人の意見も聞きやすくなる。

○話し合い1：「大世界カフェ」の成果を抽出する

今井：今日は、少し変わった進め方をする。大世界カフェの15班分の成果を5つの班で6班分ずつ分けて、しっかりと読み込み、特に大事な意見を抜き出したり、刺激を受けて新たに思い浮かんだことを「成果カード」に書き出してください。

(各班で話し合い)

今井：休憩の間に、班のメンバーチェンジをしたい。各班で1から6の番号を時計回りに言ってください。1から5の人は、今言った番号の班に行っていただき、6の人は一つずれた班に移動してください。

(休憩・テーブル移動)

○話し合い2：他の班に行き、見聞を広げて元の班に戻る

今井：これから、前の班から残っている人に、これまで話し合ったことを報告していただき、他の班から来た人は、そこから学んだことを「見聞録カード」に書き取っていただきたい。後で、それを持って元の班に帰っていただく。

(各班で話し合い)

(元の班にテーブル移動)

○話し合い3：班のまとめ

今井：他の班から戻った人は、学んできたことを「見聞録カード」を模造紙に貼りながら報告し、みんなで共有してください。

- ・さらに、班で話し合っただけだと考えたことと、他の班から学んできたことから、今日の話し合いの成果を、3つの「焼津市のまちづくり（自治）を進める上で大切にしたいこと」としてまとめてください。

(各班で話し合い)

(4) 全体でみんなが話したことを共有し、今後へつなげていきましょう

今井：これから、七並べ方式などと言ったりもする少し変わった方法で、全体の意見集約をしながら各班の発表を聞いていきたい。

○1 巡目

- ・1班：人と人とのつながりが一番大事だと考えた。
- ・3班：特に世代間のつながり、市民と議会、行政とのつながり。
- ・4班：つながりをつくろう。交流の場づくり世代間、あいさつ、お互いの思いやり。
- ・5班：人と人がつながるコミュニティ。コミュニティの中で人がつながるものを目指したいということ。
- ・2班：コミュニティがメインだが、日本一健康なまち、安心、資源、活性化といったカテゴリーが関連し、その中心にあるのがコミュニティということでまとめた。

○2 巡目

- ・1班：地産地消、出かけたくなる、交通の利便性という3つのキーワード。よそから来て、黒はんぺん、桜えび、しらすというのを聞くが、よその人は知らない。もっとPRしよう。出かけたくなるというのは、子育て世代や年寄りがコミュニケーションをとれるところがあればいいということ。しかし、交通の利便性が弱い。この3つがつながるまちづくりを。

○3 巡目

- ・1班：災害に強いまちづくり。3月の大震災もあったが、永遠のテーマ。結局は人のつながりということもあるが、行政も個人個人も常に頭に入れておきたい。まちの中にゴミ、可燃物が多いと危険性が高まる。安心安全、コミュニティの問題ともつながる。ゴミゼロ
- ・3班：安心・安全。色んな話があると思う。防災、防犯、環境、消費者問題なども含めたあらゆる安心・安全を希求。

- ・ 4班：安全・安心を大切に。3つ。赤ちゃんから高齢者まで快適に。災害に強いまち。医療・福祉の充実。
- ・ 5班：安心・安全をテーマとしたが、キーワードとして「市民の力」というのを加えた。今回の震災で、行政や警察・消防だけでカバーできることではないと分かった。市民のつながり、日頃からの活動で安心・安全が高まる。

○4巡目

- ・ 2班・意識改革が重要。市民・行政・議会としたが、議会のことはよく分からなかった。市民は行政任せでなく、自発的に。行政は市民に参加してもらえよう魅力的な活動を。

○5巡目

- ・ 2班：市民・行政・議会が意識改革するためには、情報共有が必要。行政からは小さなことも包み隠さず発信する。今までの行政とは変わってきている。法人・市民からの発信を。市民の中には商売をやっている人も活動している人もいる。目に見える活動の発信、というのは、だれがどこでいつ活動しているのがわからないので、そういうことがわかれば「参加しようかな」と思う人も出てくるだろう。

○6巡目

- ・ 3班：未来の焼津市を担う子どもの育成。特に出たのは、子どもを大切にすることでなく、義務的な部分として、自分の子も他人の子も同じように叱ろうということ。そこから、次代を担える子どもを育成しようということ。

○6巡目

- ・ 4班：キーワードは「L o v e 焼津」。焼津のいいとこ・いいこと探し。たくさんあるのにまだ発見されていない。地元の自分達も知らないことがたくさんある。まずは自分達が勉強し、色んなことを知ることで、訪れる人が増えてくるといい。焼津が好きなら、地産地消も進む。人に来てもらうには、きれいなまちにするためにゴミを減らし、無くそうと。
- *今井：「L o v e 焼津」、まちへの愛を中心にして、さっきの1班の「地産地消」や、同じく1班の「ゴミゼロ」（安心・安全）とつながってきた。

○7巡目

- ・ 5班：焼津発！ヒト・モノ・文化。議論の中では、世界に発信するするという話や、ヒト・モノ・文化を発掘する、これから育てるという願いも込めた。
- *今井：前の「L o v e 焼津」の話にも、情報発信の話ともつながると思う。

●今回のまとめ

- 今井：「人のつながり」、「コミュニティ」で色んなテーマがつながる。また、「L o v e 焼津」という大ワールドカフェで出たキーワードから色んなことにつながっていく。「安心・安全」というのも大きなテーマとして色んなことにかかるキーワード。
- ・ これらのキーワードから、どういうふうに広がっていくかをくわしく考えたり、まちづくりの仕組みについて考えるのは、これからの課題。市民・行政・議会の動きにつながっていくように考えていかなければいけない。それに伴って、担い手の意識の問題、「未来を担う子ども」の育成の問題。

- ・そしてこれら全部を束ねる基盤として、「情報」があるということだと思う。
- ・焼津市のまちづくりや自治を進めていく上でもっとも大切にしたいことが見えてきたと思う。これは、先日の条例の模式図で「基本的な考え方」に入ってくる内容になると思う。まだ網羅されていないが、次の段階には、今日出された「大切にしたいこと」を、どのように具体的に守り、育てていくかについて話し合いたい。
- ・次回に向けて、宿題という形になるが、焼津市の自治基本条例をつくる時、どのような内容を入れると、今日出たような話を実現できるかということについて冬休みの間に考えてきていただきたい。それを次回持ち寄って、話し合いをしたい。

(5) おわりに

事務局：来年2月の市民会議で、始まる前に昼食会などやればと思う。具体的には後日ご相談したい。

- ・今日配付した第5次総合計画は、市民の皆さんと一緒につくったものなので、分かりやすい内容になっていると思う。27ページに体系がある。6つの政策、32の分野別の施策、1200の事業がある。この総合計画は、行政だけでなく市民の皆さんも一緒に進めていきたい。作りっぱなしでなく、進捗を評価をしながら進めていきたい。
- ・今回の基本条例は、こうした事業、目標の実現に向けてみんなが動きやすくするため、理解しやすくなるために必要なのではないかと思っている。そういうものをみんなで作ってあげていきたい。
- ・来年1月24日の防災シンポジウムは非常にためになるものだと思うので、ぜひご参加を。
- ・(広報紙「まちづくり回覧板」についての確認→承認)
- ・これからPRグッズなども考えたい。大漁旗とか、「自治基本条例の唄」など。ぜひみなさんのアイデアを。
- ・(閉会あいさつ)